

最強の投資手法「スーパーボリンジャー」「スパンモデル」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、豪ドルドル、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、日足と週足分析に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 10 月 19 日終値時点での判断です。また、スパンモデルに関しては、注目すべきポイントだけを補足として付け加えています。尚、内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、センターラインと -2σ ラインの間での、方向感に薄れたレンジ相場と判断。

戦略としては、センターラインと -2σ ラインの間でのレンジ相場を想定したカウンタートレーディングとなる。もっとも、日足だと、売買判断の際の想定レンジが広いため、4 時間足等、日足よりも下位の時間軸を参考にしたい場面。

尚、遅行スパンがローソク足の上昇に呼応して上昇中であるが、今後、遅行スパンがローソク足から下放れる場合、陰転となり、売り優勢に変化していく点、念のため、注意はしておきたい。

◆スパンモデル

買いシグナルが点灯継続し、逆行パターンの売りサインが点灯継続中。そして、逆行パターンの売りサイン点灯時の最終ターゲットである -2σ ラインに接近後、反発し、底堅く推移している。

また、遅行スパンはローソク足に接近した後、反発気味に推移している点に注目したい。そして、ローソク足が安値を付けたタイミングを通過して以降、上昇傾向にあるローソク足に呼応する格好で推移、上昇方向にバイアスがかかっている点、注視したい場面。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場、緩やかな上昇トレンド

○遅行スパン＝陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝目先、 $+2\sigma$ ラインとセンターラインの間でのレンジ相場と判断。週足終値がセンターラインの上方を推移するかぎり、緩やかな上昇トレンドとも読む。

◆スパンモデル

買いシグナルが点灯継続する中、買いシグナル点灯時の猶予期間中に付けた高値を、終値ベースで下回って推移しており、逆行パターンの売りサインが再点灯継続中となっている点に注目。

■ユーロドル

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場、緩やかな下落トレンド

○遅行スパン＝陰転しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝センターラインと -2σ ラインの間でのレンジ相場と判断。もしくは、終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドとも読む。

◆スパンモデル

買いシグナル、および、赤色スパンの逆行パターンの売りサインが再点灯継続している点、引き続き注目。

そして、いずれも、逆行の売りサインの最終ターゲットである -2σ ラインに到達して以降、反転上昇に転じ、センターラインに到達した後は、再度、反落している点に注目。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソク足に絡みつつも陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝目先、センターラインと -2σ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

赤色スパンの逆行パターンの買いサインが依然として点灯継続中。一方、売りシグナルの順行パターンの売りサインが再度点灯している点に注目したい。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド継続中ながらもレンジ相場に戻る可能性も示唆

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が -1σ ラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。一方、終値が同ラインの上方で引けると、レンジ相場に押し戻される可能性が高まる。週末の日足終値が僅かながらも -1σ ラインの上方で引けており、レンジ相場に戻る可能性を示唆している点、注目しておきたい。

◆スパンモデル

依然として赤色スパンや買いシグナルの逆行パターンの売りサインが点灯継続している点に注目。

遅行スパンが、ローソク足を下回ってきて、陰転しつつある点に注目。目先、サポートゾーンを下回ってくると、本格的な陰転となる点、注意しておきたい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、 $+1\sigma$ ラインと -1σ ラインの間でのレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

売りシグナル点灯時の猶予期間中に付けた安値の上方で推移していることから、逆行パターンの買いサインが点灯継続する中、逆行パターンの買いサイン点灯時の上値ターゲットである $+2\sigma$ ラインに到達した後に反落している点に注目したい。

■豪ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=陰転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、 -1σ ラインを挟んで、センターラインと -2σ ラインの間でのレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

売りシグナルの逆行パターンの買いサインが点灯中。尚、遅行スパンとローソク足との絡み具合も注視したい。すなわち、遅行スパンは、現在、ローソク足に絡みながら推移しているが、ローソク足から下放れて陰転する場合、一気に売り圧力が高まる点には注意しておきたい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=陰転継続しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略=目先、センターラインと -2σ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

赤色スパンの下向き変化時、および、売りシグナル点灯時の猶予期間中の安値を、引き続き、下方にブレイクしており、順行パターンの売りサインが点灯継続している点、注目。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝本格下落トレンド

○遅行スパン＝陰転しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が -1σ ラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。今後、バンド幅が拡大してくると、トレンド性を強める点、注意しておきたい。一方、終値が -1σ ラインの上方で引けると、レンジ相場に押し戻される可能性が高まる。

◆スパンモデル

買いシグナルや赤色スパンの逆行パターンの売りサインが点灯継続している点に注目。そして、逆行パターンの売りサイン点灯時の最終ターゲットである -2σ ラインに到達した後、一旦は反転上昇したものの、再度反落し、終値が -2σ ラインを下回ったことで、売り圧力が高まっている点、注目。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、+2σラインとセンターラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

売りシグナルが点灯継続する中、引き続き、逆行パターンの買いサインが点灯継続している点、そして、逆行パターンの買いサイン点灯時の最終ターゲットである+2σラインにほぼ到達した後に反落している点に注目。また、逆行スパンが、高値を付けたローソク足を通過中であり、今後、ポンド軟調な展開がメインシナリオとなる点、念頭においておきたい。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<https://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<https://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。